

保護者の皆様へ

青森県立三本木農業高等学校
校長 遠藤 剛

冬季休業中の新型コロナウイルス感染症に対する注意について

師走の候 保護者の皆様におかれましてはますます御清祥のこととお喜び申し上げます。日ごろは本校の教育活動に深い御理解と御協力をいただきありがとうございます。

さて、ニュース等でご承知のとおり、現在、全国的に新型コロナウイルス感染拡大の第3波に直面しています。これまでのクラスター分析で得られた知見から、感染リスクが高まる「5つの場面」（裏面参照）が新型コロナウイルス感染症対策分科会により提言としてまとめられました。冬季休業中は「5つの場面」に相当する場面を避け、一人ひとりが最新の知識を身につけて正しく対策を行っていただくことが重要です。

冬季休業終了後の3学期は、学年末考査や卒業式、高校入学者選抜等が行われる、大変重要な時期になります。この重要な時期を学校と生徒、保護者の皆様が力を合わせて乗り切っていきたいと考えております。御家庭におかれましても、下記の点に御配慮をいただきながら、冬季休業を過ごしていただきますよう、御理解、御協力をお願いいたします。

記

1 生活全般において

- ① マスク着用、手洗い、手指消毒の徹底をお願いします。
- ② 毎朝検温し、健康観察票へ記入してください。
また、帰省や旅行等の行動記録、帰省者等との接触状況も記録してください。
健康観察票は、始業式（1月12日）に担任へ提出してください。
- ③ 他県（特に感染拡大地域）への旅行、他県からの帰省者等と会う場合は、行動を記録するとともに、感染予防に努めてください。
また、2週間程度は健康観察を念入りに行ってください。
- ④ 厚生労働省が提供する接触確認アプリCOCOAの利用をお願いします。

iPhoneの方はこちら



Androidの方はこちら



- ⑤ 発熱、風邪症状がある場合は、かかりつけ医等を受診してください。
- ⑥ 「息苦しさ、強いだるさ、高熱などの強い症状がある。」または、「発熱や咳など比較的軽い風邪の症状が続く。」場合は、かかりつけ医か県コールセンター(0120-123-801)へすぐに相談してください。
- ⑦ 登校する際は、検温の上、各活動において健康観察票へ健康状態を記入してください。
体調不良の場合は、出校しないでください。

2 感染拡大防止のため、下記の場合は学校へ報告して下さるようお願いいたします。

- ① 生徒の感染が判明した場合
- ② 生徒が濃厚接触者として特定された場合
- ③ 生徒がPCR検査を受けた場合
- ④ 生徒が抗原検査を受けた場合
- ⑤ 生徒に新型コロナウイルス感染症が疑われる症状が4日以上続いた場合

(三本木農業高校：0176-23-5341)

感染リスクが高まる「5つの場面」

場面① 飲酒を伴う懇親会等

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- また、回し飲みや箸などの共用が感染のリスクを高める。



場面② 大人数や長時間におよぶ飲食

- 長時間におよぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事に比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面③ マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面④ 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間にわたり閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面⑤ 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

